|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 知識アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　エ⑵　建武の新政⑶　足利義満 | １ | ⑴　鎌倉幕府第８代の北条時宗である。アの北条義時は２代執権で承久の乱の際，幕府軍の中心として勝利に導いた。イの北条泰時は３代執権で〔〕を制定。ウの北条時政は北条政子の父で初代執権である。⑵　建武の新政とは，1333年に足利尊氏らの協力により鎌倉幕府をした後醍醐天皇が始めた政治である。1334年に年号を建武と改めた。⑶　室町幕府第３代将軍の足利義満は，1392年，南北朝の動乱を南朝の天皇が北朝の天皇に位をゆずる形で治めた。室町幕府が最も安定したのは義満の時代である。 |
| ２ | 技能アイコン技能アイコン知識アイコン技能アイコン知識アイコン | ⑴　⑵　⑶　琉球王国⑷　ｃ⑸　アイヌ民族 | ２ | ⑴　倭寇の中心は瀬戸内海沿岸，九州北部の武士や農民らであった。彼らは集団で朝鮮・中国沿岸にり，貿易をおこなっていたが，がうまくいかないときなどは，的なをおこなうこともあった。⑵　勘合は２つに分けられ，片方を貿易船がもち，残りの片方の台帳と照らし合わすことで，正式な貿易船かどうかを判断した。⑶⑷　14世紀中ごろの沖縄は，北山，中山，南山の３王国に分立していたが，1429年，中山の尚巴志が統一して琉球王国が成立した。⑸　アイヌ民族は樺太，千島列島，蝦夷地で古くから生活していた人々で，独自の文化をもち大陸との交流もあった。 |
| ３ | 技能アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　応仁の乱⑵　戦国時代⑶　東山文化 |  | ⑴　応仁の乱は，室町幕府８代将軍である足利義政の後継者争い，有力な守護大名である山名氏と細川氏の争いなどが原因となり，1467年に始まり11年間続いた。⑵　応仁の乱により室町幕府のはし，幕府の勢力は近畿地方の一部にしかばなくなった。これに対して実力で戦国大名となったものたちは，分国法により家臣団の統制をはかるなどして，勢力を拡大していった。戦国大名の代表が，関東の北条氏，美濃の斎藤氏などである。⑶　東山文化とは，足利義政が建てた銀閣が京都の東山にあることに由来する。 |